



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 7 月 22 日(水)～
のしろまち灯り・夏 準備～ろうそく作り～ 編

7月22日、今夜は3種類のろうそく作りです。ひとつは、能代バイパス黒松友の会の方々が剪定した黒松の葉の精油を入れた香りろうそく。あと2つお寺でいただいたものをリサイクルした田楽の中に入れるろうそくと子ども館で行なわれる廃食用油のろうそくづくりの際に参加者にプレゼントするカラーろうそくです。黒松友の会の工藤会長や小林さん、NW事務局の渡辺先生、常盤ときめき隊の石川さん、能代河川国道事務所の宮腰さんも駆けつけて下さり、みんなで頑張りました。

今回はじめて自治会連合にも協力を呼びかけて200以上ある能代市全域の自治会長にまち灯りのろうそく、田楽づくりの協力をお願いし、依頼文の封筒詰めもみんなでした。「何だか内職してるみたいだね」なんて笑いながら、作業は10時ごろまで続けました。

小さな紙コップにヘアピンを渡すという今回初の試みの結果、とっても可愛いろうそくができ、大満足。疲れてへとへとになりながらも、充実感溢れる数時間でした。みんな、喜んでくれるといいな～ >^<

7月25日(土)には、子ども館で廃食用油のろうそく作りを行いました。この企画も5回目を迎え、子ども達にも定着してきたように思います。市内小学校、愛慈・淳城・みなみ幼稚園にご案内を差し上げ、100人近い参加をいただきました。

まち灯りを始めた当初から、可愛い、夢あふれるチラシを作って下さる三熊さん、ユーモアたっぷりにろうそく作りの説明をして下さる子ども達に大人気の寺内さん、会場設営等ご準備をして頂いているスタッフの皆さんにはいつも感謝しております。有難うございました。今回は1日のみの開催でしたが200個ほどが出来ました。ろうそく型は小さめのプリンカップ。いつものように買占めに暴走し、何とか間に合いました。

この日は大館のボーイスカウトの皆さんが親子で参加。初めてのろうそく作りに大変興味を持って下さり、喜んでいただくことができました。これをきっかけに、環境活動への輪が広がるといいですね。

午後3時、廃食用油のろうそく作りを無事終え、すみれ会3人で手這坂活用研究会会長の大高孝雄氏絵画展に出発。

旧八森小学校を利用し7月5日から8月16日まで開催されているもので、1956年から油絵を手にとってから実に50年間の作品161点が展示されていました。自然を愛し、郷土やそこに暮らす人々を愛する会長の優しさや力強さが伝わってくる作品ばかりで、拝見できた喜びをしみじみ感じながら帰路につきました。大高会長の今後ますますのご活躍をお祈りしております。手這坂も蘇らせて下さいね。

文：能登 祐子



田楽用ろうそくはお寺からいただいたろうそくをリサイクル。



得意なことを作業分担。石川さんは農業希釈で培った技を披露。



新しい制作方法に挑戦！完成が楽しみです。



温度を確認しながら廃食用油を温めます(左)。凝固剤を入れて溶かしたら、お玉でカップに注いでいきます(右)。



できあがったろうそくをスギ灯りに入れて点灯すると、その明るさにみなビックリ！当日も是非、会場に来て下さいね。



会場には永年書き続けてこられた大小さまざまな作品が展示されていました。